



生産者さんの顔が見えると安心しますね

生産者・取引先様との交流会 2018

生産者さんや製造メーカーさんの商品づくりのこだわりや想いを知っていただくとうと2日間にわたって開催された「生産者・取引先様との交流会」。組合員さん3,023名・取引先様のべ50社の参加でにぎわいました。

新しい発見いろいろ
ありました!



今号12ページでも
当日の様子を
掲載しています

食べ物の大切さ感じる 「産直産地ツアー」に 行きませんか?

ツアー参加者募集!
くわしくは2ページへ!



岩手からの復興だより ②

これからも被災地に寄り添って

3月11日午後2時46分は、東日本大震災で被災した岩手県大槌町で迎えた。大勢の人が黙とうをささげ、周囲は静寂に包まれた。

被災地では、暦の区切りが元旦ではなく「3・11」になったとの声をよく聞く。自分もこの1年を振り返ってみた。

復興相の「(震災が)まだ東北で、あっちの方だったから良かった」との発言。難航する廃炉作業を尻目に原発再稼働を目指す動きが相次ぐ。「復興五輪」の掛け声の下、東京と被災地の格差は拡大を続ける。

風化が一段と進んだ。「東北の復興なくして日本の再生なし」。首相が繰り返す言葉が空疎に響く。

大槌町では今なお1300人が仮設住宅で暮らす。被災地の1年が、また始まった。

※東北6県を取材・販売エリアとする「河北新報」の釜石支局記者

釜石市

河北新報社 釜石支局
記者 東野 滋さん

